

人は出会いによって
育てられ
人生は別れによって
深められる

2025.7

第26号
正法寺発行



人との新たな出会いは、時に自分の何かが揺さぶられ、心がざわつきます。別れのあと、その人からもらったものの大きさに気づくこともあります。でもきっと、自分自身も誰かにとってそんな存在なのです。

亡き人の好んだ色で
ハスワーク



念珠作り



毎月28日13:30~15:30
(参加費500円)



開催中!



休憩時間の
お抹茶タイム!

12月の帰敬式希望者は
ぜひご参加ください。

※詳細は裏面へ



真宗入門講座「はじめまして、親鸞さん。」
東本願寺上山&講座修了報告！

5月9日（金）～11日（日）

昨年9月から開催されていた「真宗入門講座」が

京都の東本願寺で行われた講座と帰敬式にて無事修了

正法寺から参加の4名に、終了後の感想を伺いました



■昨年9月から始まった真宗入門講座の最終回。同朋会館に入館し昼食をはさみ結成

式。全員で真宗宗歌を斉唱し、勤行、正信

偈のお勤めには力が入りました。諸殿拝観、

講義など日程は結構ハードでしたが部屋ではお喋りなどくつろげる時間もありました。

御影堂の親鸞聖人の御真影の前において帰

敬式を受け、法名をいただきました。剃刀

の儀を受けた時の『南無阿弥陀仏』のお声

はとても優しい響きで親鸞聖人に包まれて

いるような感動を受けました。今回の研修

を受け、貴重な経験をさせていただきあり

がとうございました。

宮田敦子（片町）

※『蓮如上人御影道中』とは、
真宗本廟（東本願寺）と吉崎別院（福井）
の間を蓮如上人の御影とともに歩いて
お供する御仏事。その距離往復400km超え！

■5月9日は、ちょうど蓮如上人御影道中最

終日（※）。雨の中を『蓮如上人さまのお通り』

と大きな声でお戻りになられ、感激の1日目

が始まりました。緊張と不安の中、御影堂に

て親鸞さまに出会う事ができました。帰敬式

受式にあたり、おかみそりを頭の上に三度あ

てられた時のズーンと伝わった感動や法名を

頂いた時の喜び、共通する仲間を持つことが

出来た事、御影堂門に上り三尊像（釈迦如来・

阿難尊者・弥勒菩薩）の周囲での清掃奉仕が

体験できた事など沢山の思い出が出来ました。

初心者で分からない事ばかりですが、これか

らもお勤めと聞法に努めながら教えと学びと

を次へと伝えていければと思います。

田添五月（宮小路）



本山で清掃奉仕！



■これまでの私は、時々お寺に足を運ぶ日々で法要に伺ってもご法話も頂かずに帰ってしまいました。講座にお声をかけて頂き、この漠然とした不安が軽減されるのかなとか、最後に法名をいただけるとはありがたいなとか、今思えば随分と自分勝手な考えで参加させてもらったと思います。講座では沢山のご法話や寸劇、色々なお寺の門徒さんの体験談や感想などお聞きし、拙いながらも自分も意見を延べ、回を重ねていくうちに、少しずつ緊張もほぐれていき、同じ仏法を学ぶお仲間という意識に変わりました。御影堂での帰敬式、宣誓式は特に心引き締まる思いでした。普段の生活とはまるで違った濃厚な時間でしたが、あっという間に過ぎて行ったように感じました。素晴らしい体験をありがとうございました。

わたせよしえ
渡瀬芳枝 (武部町)



■正法寺から参加の4名は、最初の講座から仲が良く信頼できる関係になっていました。特に印象深かったのが御影堂での帰敬式です。清らかな空気を感じながら親鸞聖人の前に正座をし、頭に剃刀を当てていただき、仏弟子になるという厳かな儀式でした。そして法名を頂きました。今まで何も知らなかった私が、仏に帰依し同朋としての第一歩を踏み出した瞬間でした。他にも大寝殿や白書院などを見て回り、歴史の重みや寺院の壮大な力を感じ、毛綱や大櫓を見て、先人たちの念仏に対する強い思いを感じました。

『聞思して遅慮することなかれ』

この言葉のようにこれからの人生、

さかいせいこ
酒井清子 (乾馬場町)



今後また、このような講座が行われると思います。参加してみたいという方はお寺の方にお申し出ください。

洗心会活動報告

春の法要(初参り式)開催

5月18日(日)

お花いっぱい壮麗された花御堂のおしゃかさまに甘茶をかけながら春の法要、花まつり／初参り式ははじまりました。島田法務員さんのご法話の後、初参り式にて新生児四名の受式、そのご家族は総勢二十名がお参りくださいました。ご法話中にハイハイする赤ちゃん達。いつにない光景でほほえましく、みなさん温かく見守りました。

午後からは子ども食堂が開催され、洗心会よりあまちゃ飴を贈呈しました。本堂は一日中、子供の声が響いておりました。

会長 堀出

法務員の島田さんによるご法話



住職による初参り式記念ご法話



一日研修会開催

6月8日(日)



一日研修会を十六名の参加者で開催いたしました。午前は松尾整子師の、透き通る声で和讃二首独唱からスタートしました。その和讃についてのご法話の後、午後からはピンク、イエロー、ブルーの紙にそれぞれの思いを書き、グループ内にて共有し話を深めた時間は、とても盛り上がりました。参加者は、「なむあみだぶつ」一つを持ち帰りました。

坊守さん伴奏による声を出そう！の時間では、「真宗々歌」「いのちの歌」をみなで歌いました。尊い一日でした。

会長 堀出



これも仏教用語?!

普段から使っている言葉には
仏教由来の言葉が実はたくさん。
そんな言葉を紹介します。今回の言葉は、

「意地（いじ）」



「意地」という言葉で連想されるのが、
「意地悪・意地汚い・意地っ張り」など、あ
まりよい言葉ではないように思えます。しか
し「意地」はもともと仏教語で、それは人間
の「こころ」の在り処を教える言葉ですから、
悪いものでも善いものでもありません。人間
には欠かすことのできない「意識」のことで
す。ただ仏法は、「意識」が世界があるがま
まに映してはいないことを教えます。言わば、
すべてを人間の価値観で染め上げて見ている
のです。

人間は、桜の花を「桜」だと決めつけて見
ています。しかし本当は、桜には名前はあり
ません。自分を「桜」だと名乗った木はあり
ませんから。人間が、あの木に「桜」という
レッテルを貼って、分かったことにしている
だけです。なんとも傲慢な態度ではありませ
んか。

人間の見方を押し当てる、全世界を理解し、
それが正しい見方であり、それがすべてだと
思い込んでいるのです。

真宗大谷派 因速寺住職（東京都） 武田 定光氏



みつつけた!



オムランカ

OPEN / 11時～14時半
店休日 水曜日
大村市政島45-3
電話：070-8423-8221

今回ご紹介するのは、昨年6月にオー
プンした、「OMULANKA オムランカ」
さんです。大村で唯一のスリランカカ
レーのお店です。あまり馴染みのないス
リランカカレーですが、冷めにくい鉄
板に盛られ、ルーはトロミのないもの。
沢山のスパイスで深い味わいを醸し出
しココナッツミルクでバランスがとら
れていました。注文したのは、豚肩ロ
ース、ほうれん草、カトレット（コロッケ）、
あぶりチーズが入った、「店長オスス
メプレート」でした。これから夏に向
けてカレーの出番です。是非行ってみ
てください!

文責・島田



お寺でガチャが人気です!



仏教には、
たくさん大切な
『言葉』があること
を伝えたいと思い、
「法語」を書いた
用紙をガチャにして
お届けしております。

老若男女問わず、
大変人気です!

鯉のエサは、
ご法事の前後の
くつろぎタイムに
ご利用ください。
専用コインにて
どちらも無料。
カプセルは返却く
ださい。





ほう おん こう 報 恩 講

親鸞聖人を縁に大切に伝えられていく念仏の教え。一つの仏事としての形もできあがり、各地へと広がりはじめました。引き続き「報恩講」についてお伝えしていきます。（最終回）



真宗・入門

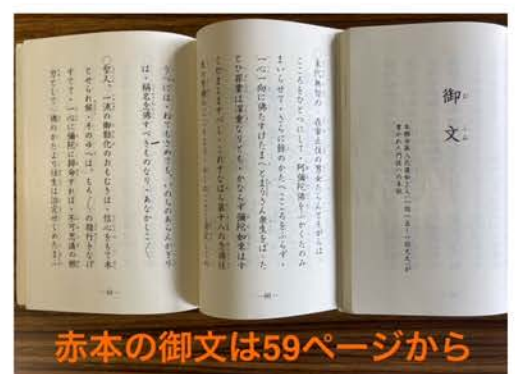
しんしゅうおおたには
正法寺は真宗大谷派の寺院です

◆お手紙を聴く

本願寺第八代・蓮如上人は念仏の教えを分かりやすく伝えるために様々なアプローチを行います。特にお手紙（御文）は念仏の教えや心構えなどが（当時の言葉で）書かれており、受取人が読み聞かせることで多くの人に教えが伝わっていくことになります。報恩講について書かれているものもあることから、親鸞聖人が伝え残してくださった念仏の教えを確かめ合う日として、報恩講は各地で大切に行われていたことが分かります。代表的な御文は赤本にも載っておりますので、普段から正信偈と合わせて読むことを心がけましょう。

◆これから

私たちが念仏の教えを聞くことができるのは、今日まで続く先輩方の「おかげさま」です。皆さまの縁ある人もその中にいます。縁ある人を偲びながらも念仏する身となった皆さまが教えを学び、その恩に報いていくことが、未来を生きる人たちへのプレゼントになると思っています。



赤本の御文は59ページから



住職が語る『正信偈』 第26回



まんぜんじりきへんこんしゆ
万善自力貶勤修 えんまんとうこうかんせんしやう
円満徳号勸専称

前回からお念仏の教えをあきらかにしてくださった七人の高僧の四番目にあたる道綽^{どうしやく}禪師^{ぜんじ}の物語に入っていくきました。道綽^{どうしやく}禪師^{ぜんじ}が生きたこの時代の中国は「※末法思想^{まつぽうしきう}」というものが非常に流行していました。末法の世においてどうしたら救われていくのか道を求めておられた道綽^{どうしやく}禪師^{ぜんじ}は、たまたま曇鸞^{どんらん}大師^{だいし}が晩年住んでおられた玄中寺^{げんちゅうじ}を訪ねていき、曇鸞^{どんらん}大師^{だいし}の足跡を伝える石碑を見てお念仏の道を歩んでいく決心をされたのでした。これが前回のあらすじです。そして道綽^{どうしやく}禪師^{ぜんじ}はそのまま玄中寺に留まり、そこで『安樂集^{あんらくしゅう}』という『観無量寿經^{かんむりやうじゆきやう}』の注釈書を書かれるのです。ではその『安樂集^{あんらくしゅう}』にどのようなことが説かれているのかを見ていきましょう。

『安樂集^{あんらくしゅう}』の特色は、仏教を聖道門^{しょうどうもん}と浄土門に分けて説いてくださったことです。聖道門^{しょうどうもん}とは、自力の戒をたもち修行をして悟りを開いていくことを目指す道です。浄土門^{じゆつどもん}は、阿弥陀仏の力によって安樂浄土に往生することを目指す道です。道綽^{どうしやく}禪師^{ぜんじ}は、末法の世においては聖道門という自力の修行ではもはや悟ること

は不可能であり、阿弥陀仏の本願におまかせしてただ「念仏」する浄土門こそが、全てのものが救われいく唯一の道であると説いてくださいます。それが前回の段落の内容でもあります。

その続きが今回の言葉です。それではひとつひとつ見ていくことにしましょう。まず「万善自力貶勤修^{まんぜんじりきへんこんしゆ}」と説いてあります。「万善」とは、いくつもの善い行いです。「勤修」とは、熱心に励む、実践することです。自分の力を信じていくつも善行を熱心に励んでいくこと、つまり聖道門の仏道を歩むということ。「貶^{けな}」されたというのです。貶^{けな}すというのはちよっときつい表現ですね。自力の修行は、本来は尊いものですが、末法時代に生きる私たちは、煩惱深く能力も劣っており、そのような修行を成し遂げることはできません。ですから、それに執着することはかえってほんとうの救済を妨げることになるよといっているのだと思います。聖道門では助からないからそれを捨てなさいというのです。

つぎに「円満徳号勸専称^{えんまんとうこうかんせんしやう}」と続きます。「円満の徳号」とは阿弥陀如来の名号のことです。南無阿弥陀仏の六字の御名の中にすでに功德が満ち満ちていっているということです。もう一杯一杯に

隙間がないほど功德が入っているのです、私たちの自力の善行が入り込む隙間はないということでしょう。しかしなかなか自力の執心がすてられないのが私たちです。お念仏一つでほんとうに救われるのだろうかと不安に駆られ信じることができない私たち。そんな私たちに「専」という言葉で強く語りかけてくださいるのです。「勸専称^{かんせんしやう}」と、阿弥陀の名号を専ら称えなさいと人びとに勧められたのです。

念仏ひとつで十分ですよとさとしてくださっているのです。道綽^{どうしやく}禪師^{ぜんじ}は、自力の修行はもはや成り立たないし、むしろ迷いのもととなる。だから聖道門を捨てなさい。そして南無阿弥陀仏の名号に救いのすべてが功德としてそなわっており、それをただ称えるべき浄土門を専念しなさいと説いてくださった。これによって末法という悟ることのできない濁った世にあって、煩惱に迷いもがきながら生きる衆生にふさわしい教えをあきらかにしてくださいと親鸞聖人は讃えておられるのです。

※末法思想

仏教における歴史観の一つで、釈迦の死後、仏教の教えが衰退し、世の中が乱れるとする思想。

月一報恩講「行いがわたしを導く時間」

「行いがわたしを導く時間」今年も新しい内容を取り入れて始まります。

毎回必ずお念仏とお勤めの時間があり、さまざまなワークを一緒に行っていきます。

それらの経験からみなさんが「仏さまの心」に気づいていく、「わたし」の内面に向き合っていく。

そしてその両輪が感謝の心・報恩の心につながっていく——そんな時間にしていきます。

予約なしで
参加可能！

3月

終了

赤本の世界

全く初めてでも大丈夫。
正信偈の読み方を中心にお伝えします。

4月

終了



ハス ワーク

専用用紙と紙コップで作るハスの花作り。
お盆のお飾りにもおすすめです。

5月

カンタン 腕輪念珠作り

手首に付ける。普段使いに便利な
腕輪念珠を作ります。

終了

6月

今年は
ココロ
が違う!!

亡き人からの おくりもの

亡き人からあなたが受け取った
「おくりもの」を考えてみます。

終了

7月

仏具を磨こう

ご自宅の仏具、お寺の仏具と一緒に
磨きます。磨き方も細かく説明します。

9月

カタルタ&DODALOカード みんなと語ろう!

カードにある話題をきっかけに、
みんなで楽しくおしゃべりをします。

今年は
ココロ
が違う!!

10月

お線香を作ろう

手作り線香キットを使って自分だけの
オリジナル線香を作ります。

11月

花を いけてみよう

少しだけコツを知ると、
花のいけ方はがらりと変わります。

12月6日

報恩講 おこみちの集い

ぜんざいを食べ、法話を聞こう!

今年は
ココロ
が違う!!

12月5日~8日

御正忌報恩講 (帰敬式)

帰敬式は別途お申し込みが必要です。

毎月違うお線香と お茶を紹介!



1年に1回だけでも大丈夫
令和7年
毎月28日
13:30開始
1回500円
申し込み不要!

正法寺LINE公式もあります。

まずはお友達登録を!



LINE登録者、
増えてます!!

